

令和8年度事業と収入支出予算

一般
勘定

68億9,811万円

介護
勘定

5億2,672万円

子ども
勘定

1億3,792万円

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合の令和8年度事業と収入支出予算(一般・介護・子ども)は第99回組合会において承認されました。

当健康保険組合を取り巻く環境は、賃上げ等の影響から保険料の基礎となる標準報酬月額(給与)は増加傾向であるものの、医療費等の保険給付費は年々増加しております。

また、高齢者医療制度への納付金・支援金は、2年前に納めた納付金の精算で約2億6千万円が令和8年度に追加され高負担な状況が続いております。

このような状況のなか、収入支出予算においては法律で定められている準備金(積立金)の余剰分からの繰入により収支均衡を保つことで、健康保険料率を9.8%に据え置くことができましたが、今後の財政は不透明な状況です。

収入では、保険料収入の基礎となる被保険者数は14,170人、平均標準報酬月額は327,000円、賞与は2ヵ月分で年間保険料額は62億3,815万円となり、収入全体の90.4%となります。

主な支出では、皆さんが病院等にかかった時に支払われる医療費や出産育児一時金、傷病手当金等の保険給付費として、前年度比で約1億5千万円増の32億8,457万円を計上し、支出全体の47.6%となっております。また、高齢者医療制度に係る後期高齢者支援金や前期高齢者納付金等は、前年度比

で6,760万円増の28億5,350万円で、41.4%を占めております。

疾病予防を中心とした保健事業費には、特定健診を含む人間ドックや生活習慣病予防健診、その後の特定保健指導の他、各種がん検診、情報機器作業健診、歯科健診、インフルエンザ予防や带状疱疹ワクチン接種の補助等、また今年度より新たに補助をする骨密度検査を加え、3億1,888万円を計上しました。

介護勘定につきましては、当組合が負担する介護納付金は5億2,672万円となり、令和8年度の介護保険料率は前年度より0.04%引き下げし1.58%となりました。

また、令和8年度から国の少子化対策「こども未来戦略(加速化プラン)」の財源確保のため、新たに「子ども・子育て支援金」が創設され、健康保険組合を含むすべての公的医療保険において保険料とは別に支援金を徴収し、国へ納めることとなりました。

支援金は標準報酬月額に対し0.23%(労使折半)をご負担いただき、児童手当の拡充や妊婦・子育て世帯への新たな給付制度など、国の子育て支援の施策に充てられます。(詳細は4ページをご参照ください。)

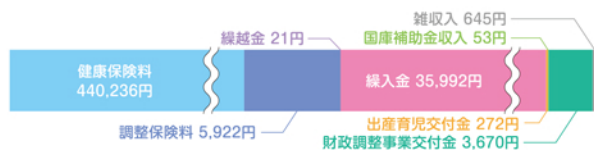
加入者の皆さまには新たなご負担をお願いすることになりますが、制度の趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

予算概要表 一般勘定

単位=千円

科 目	収入予算額	科 目	支出予算額
健康保険料	6,238,148	事務費	96,510
調整保険料	83,909	保険給付費	3,284,573
繰越金	300	法定給付費	3,278,023
繰入金(準備金繰入)	510,000	付加給付費	6,550
国庫補助金収入	749	納付金	2,853,499
出産育児交付金	3,856	前期高齢者納付金	1,399,594
財政調整事業交付金	52,000	後期高齢者支援金	1,453,903
雑収入	9,144	病床転換支援・流行初期医療確保拠出金	2
合計	6,898,106	保健事業費	318,879
		財政調整事業拠出金	83,909
		営繕費・還付金・連合会費・積立金	7,436
		その他	3,000
		子ども勘定繰入	300
		予備費	250,000
		合計	6,898,106

◎被保険者1人当たり収入…合計486,811円



◎被保険者1人当たり支出…合計486,811円



予算概要表 介護勘定

単位=千円

科 目	収入予算額	科 目	支出予算額
介護保険料	526,720	介護納付金	524,622
雑収入	2	介護保険料還付金	100
合計	526,722	予備費	2,000
		合計	526,722

予算概要表 子ども勘定

単位=千円

科 目	収入予算額	科 目	支出予算額
子ども・子育て支援金収入	137,622	子ども・子育て支援納付金	129,085
雑収入	1	子ども・子育て支援金還付金	3
一般勘定受入	300	予備費	8,835
合計	137,923	合計	137,923